

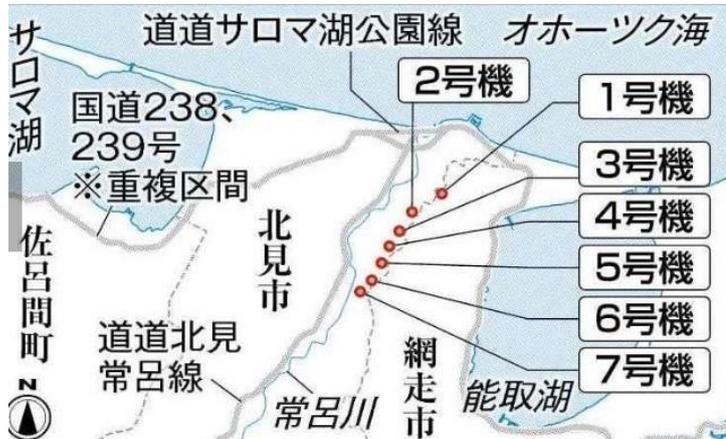
柵の木からの手紙

2024年 睦月 1月号



↑ 自宅2階から見えるもの 夜・昼間↑

↓ 大空町女満別空港東高台からの風景↓



ユーラス常呂能取
ウィンドファームの風車

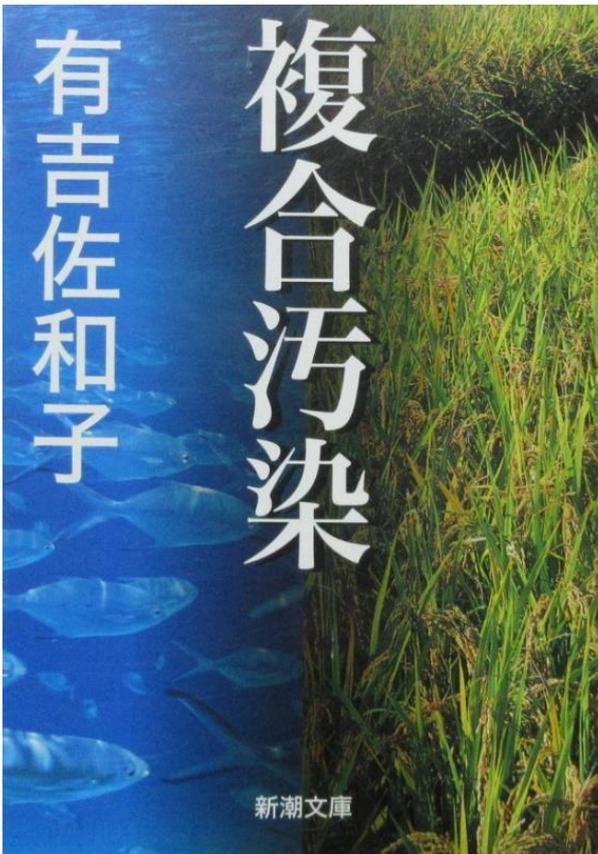
- 6日： 小寒
- 11日： 新月 旧12月1日
- 17日： 阪神淡路大震災
- 20日： 大寒
- 26日： 満月 旧12月16日

新年あけまして、こころに「光」を！
昨年10月上旬頃からか、夜トイレに



起きて北側の窓から外を見るといくつかフラッシュする光が見えていた。気が付いた頃は数個の光だったが、今では7個の光を確認できる。当初は何の光か解りませんでした。大空町道の駅「ほのか」への納品途中、遠い山の稜線上に白い棒が微かに見え、良く見ると3枚の羽根まで見える様になり、風車である事が解りました。その夜、「網走風力発電」で検索をすると、新聞記事が目にとまり一か月程気になっていた光は「ユーラス常呂能取ウィンドファームの風車」の光である事を理解できました。天候の関係で見えたり見えなかつたりしますが、意識して求める様になると今迄見える事（気付く事）の無かった風車の姿を自宅から確認する事が出来る様になりました。地球環境保全の為の自然エネルギー利用への転換。道北宗谷地域でも同様の事業が検討されていますが、自然環境問題で揺れています。

意識して求める様になると今迄見える事（気付く事）の無かった風車の姿を自宅から確認する事が出来る様になりました。地球環境保全の為の自然エネルギー利用への転換。道北宗谷地域でも同様の事業が検討されていますが、自然環境問題で揺れています。



11月1日豊穰感謝の日、「東方の光」理事長挨拶は新しい文明の創造と自然農法を取り上げられ、自然農法文化事業団の阿部卓専務理事より報告がありました。私は、資料として受け取っているだけですが直ぐに目に付いたのは、有吉佐和子さんの複合汚染という本の表紙写真とその中に登場する須賀一男さん親子の写真。

小説「複合汚染」は認識していましたが読んだ事はない。須賀一男さんはテレビ等で見知ってはいました。息子さんの利治さんとは2012年の自然農法普及会の研修会の時に熱海で初めてお会いした事がある。でも、有吉佐和子さんの小説に登場している事は全く知らなかった。

1979年にこの本が発刊された当時私は19歳。40余年掛けて漸くその本に出合った。それ以前中学時代の文化祭では、食品の着色料を抽出して展示。公害問題等には早くから関心を持っていたのに。そんなことで、早速気付いたその日の夜に本を注文。

話はそれですが12月8日は、太平洋戦争勃発の日。私は、日本とハワイの位置をイメージして直線的に東へ進んだ様に思っていました。50歳を過ぎて「淵田美津雄自叙伝」を手にしたときその間違いに気づきました。密かに国後島に集結し冬の大荒れの北太平洋を回り込んで苦勞してハワイに向かったのです。「えっ！…」という感じでした。

脱炭素社会の流れの中で農水省が打ち出した「みどりの食料システム戦略」という政策提言の中で2050年までに有機農業の面積を日本の耕地面積の25%まで増やす目標が掲げられている。

馬鹿げた数字は兎も角として有機農業に目を向けている事は歓迎する。でも、先頃の東京オリンピック・パラリンピックの選手達の食事メニューは、有機食材を提供すると早くから言われていたが徐々にそのレベルが下げられていた。有機農業が重視されるその基本姿勢は、健全な土壌で育った健全な農作物を取り入れる事で人のこころも体も健全になって行く事。

農医連携を推奨し、治療や生命の維持を主な目的とする医療（キュア）から生活の質を向上させ、身体のみならず、こころや社会的な意味をも含めた健康を保つ事を目指す医療（ケア）への転換であってほしい。その為の自然農法・有機農業。



秋播小麦 12月2日 エン麦



12月 10日

この秋、慣行の畑でもエン麦の越冬栽培試験を行っている。左写真の1枚の中で中心から左は秋播き小麦。中心から右はエン麦。秋播き小麦は越冬する事ができ、エン麦は越冬できず枯れて行きます。でも目に見えない土の中では、微生物が…。

～ 暦 と 気 象 ～

2024年 1月号

暦 と 気象 に関する俚諺の一つに次の様なものがあります。



2023年 11月 20日



2023年 12月 14日

土づくりの為のエン麦の越冬栽培。冬を迎えたエン麦は徐々に枯れて行きます。

☆ 雨量 と 地下水

雨量 ⇒ 旧正月元日から最初の未の日までの日数でその年の雨量を予知

元日 が 未 ⇒ 1合水 早魃

三日目が 未 ⇒ 3合水 早魃

十日目が 未 ⇒ 1升水 大水

地下水 ⇒ 正月元日 から最初の未の日の日数

2024年令和6年甲辰閏年		
旧正月	2月10日	
最初の未	2月13日	4日目
最初の未	1月 8日	8日目
雨量	4	
_____ = _____ ⇒ 並み		
地下水	8	

☆ 旧正月 と 立春

2024年
旧正月 2月10日
立春 2月 4日

立春より早い ⇒ 春が早い 秋が短い
⇒ 立春と同じ頃 ⇒ 平年並み
立春より遅い ⇒ 春遅い 秋が長い 夏短い

☆ 豊作

- ・小寒の日（1月6日） 少し雨が降る ⇒ 麦 豊作
- ・小寒の日（寒の入り） 雪降るは ⇒ 豊作 （1月5日降雪です）
- ・寒中に雷鳴 ⇒ 豊作
- ・寒中にしばしば雨降る ⇒ 春 豊作
- ・早魃 に 凶作なし （2023年7月早魃）
- ・旧暦閏年に 凶作なし （2023年は閏2月で2月が二回あり閏年）

☆ 凶作

- ・日蝕 ある年は ⇒ 凶作多い
- ・月食 ある年は ⇒ 蔓作凶作